

平成29年度 働く人の健康づくりをサポート～健康デザインプロジェクト 「健康デザインプログラム事業戦略に向けたニーズ調査及び課題提案」 実施概要 (蒲郡商工会議所 委託事業)

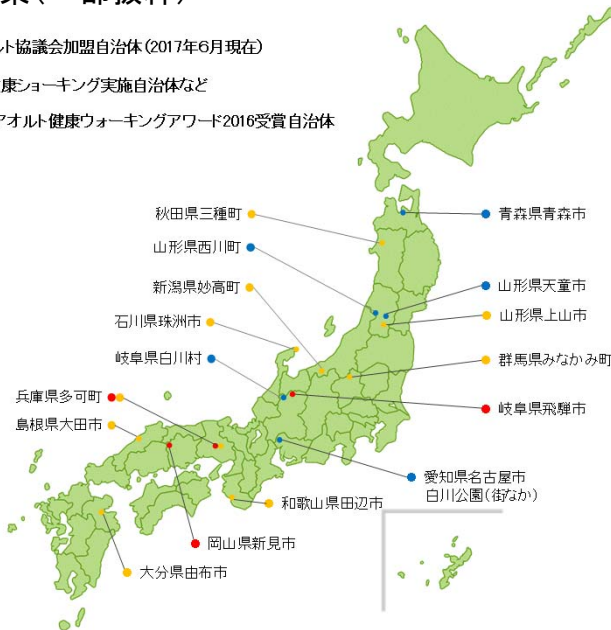
1. 業務の目的

蒲郡市における健康デザインプログラム事業戦略構築に向けた調査として、先進地域におけるヘルスケアツーリズム(スポーツ、温泉、ヒーリング等の提供プログラム)の実態を把握する他、主要な利用層やユーザーニーズを把握した。

また、従業員の健康管理に取り組む企業または団体における、その取り組み内容(従業員の健康課題の把握、食生活の改善、運動機会の増進、メンタルヘルスケア等)の実態を把握する他、取り組みの成果や課題を把握することにより、従業員の健康増進における企業ニーズを調査した。以上を通じて、蒲郡地域における健康デザインプロジェクト造成にあたっての課題と取り組みの方向性を提案した。

2. 調査結果(一部抜粋)

- 日本クアオルト協議会加盟自治体(2017年6月現在)
- クアオルト健康ショールーキング実施自治体など
- 太陽生命クアオルト健康ウォーキングアワード2016受賞自治体



気候性地形療法における気候の4要素と効果

太陽光

- ビタミンD3の合成
- 骨の強化
- 免疫力活性

可視光線

- 体内の24時間リズムの調整
- 深い睡眠

清浄な空気

- 呼吸器系
- アレルギーの改善

冷気と風

- 持久力強化
- 免疫システムの改善
- 血液循環機能アップ
- 体温調節機能アップ

■ドイツにおけるクアオルトの成り立ち

クアオルト(Kur ort)とは、ドイツ語で「療養地」「健康保養地」の意味で、クア(Kur)「治療・療養、保養のための滞在」、オルト(Ort)「場所・地域」という言葉が合わさった言葉を目指す。

クアオルトは、国が認定した特別な地域(基本的には自治体)で、「土壌:土に由来する温泉や泥・蒸気」、「海:海に由来する海水・海風・海の泥など」、「気候:太陽光線や清浄な空気などの気候」、「クナイプ式:クナイプ牧師の手法※」の4つの療養要因で医療保険が適用される地域である。療養の内容は入院・通院があり、最長3週間滞在して治療することもある。また、現在では、治療だけではなく、自費で健康づくりに活用する人が8割以上を占めており、健康保養地の性格も持つ。

■クアオルト事業に取り組む地域

日本型クアオルトは湯布院市(旧湯布院町)から始まり、山形県上市市、和歌山県田辺市、新潟県妙高市、石川県珠洲市、島根県大田市、秋田県三種町、群馬県みなみ町、兵庫県多可町の6市3町(2017年時点)が日本型のクアオルトを取り入れて展開している。

また、これら9市町は日本型クアオルトの実践と推進のため「日本クアオルト協議会」を設立している。

■日本での日本型クアオルトの展開に向けて

ドイツでは、医療保険が適用されるクアオルトのような自然療法や現代医学が選択できる統合医療である。クアオルトは医療保険が適用される場所のため専門医や医療機関などの施設が必要となる。ドイツのクアオルトを日本で実現するためには医療保険制度の問題や施設整備などの課題がある。

日本には、海・山・河川や温泉が多くあり、クアオルトの展開には有効に活用できる資源が多くある。そのため、ドイツのクアオルトの考え方を基本として、日本の自然環境や社会環境にあわせた健康づくりの仕組みやプログラムを検討していくことが求められる。